

語り

背中に大きな翼の生えた動物達が空（くう）に浮いている。神田の、とある古書店で見つけた、「聖獣伝説」なる寓話集の表紙に描（えが）かれた、奇妙なイラスト……。子供向けの書籍にしては、中身は文字だけである。

その表題作「銀獅子」は、年老いたマントヒヒの語りで始まる。

ヒヒ

【天空が黒い雲に覆われ、大草原が火炎に包まれ、動物達が大いなる艱難（かんなん）に見舞われし時、銀色に輝く翼を持つライオンが、天空から降臨し、わしら動物達をその艱難から救い出すであらう……。】

SE 1（ライオンの咆吼）

語り

動物達は、その伝説のライオンを、聖なる獣「銀獅子」と称び、守護神として崇めてきた。

M 1（暗雲） C I ∼ D N ∼ B G M ∼ F O

そしてその伝説は、やがて現実のものとなる。高度な文明を持った生物による突然の侵略。大草原には火が放たれ、巨大な石の建造物が建てられていく。動物達は、次々と収容所に収監されていった。そんなある日、若き一頭のライオンが、他の収容所から移送されてきた。収監されていた動物達は、「救い主・銀獅子の来臨か！」と色めきたったが、そのライオンに、銀色に輝く翼はなかった。他の収容所で生まれたが、母親は出産後すぐに亡くなっていた。ライオンは、年老いたヒヒから、銀獅子の聖獣伝説を聞く。

SE2 (ヒヒの鳴き声) C I 〽 C O

ヒヒ

収容所で生まれたお前には想像も出来まいのう。わしらの故郷、大草原はな、緑豊かで、それはそれは広くて美しい所さ。夕暮れ時になると、でっかい真っ赤な太陽が、遠い遠い地平線の彼方に、沈んでいくんじゃない………わしら動物達にとっては天国の様なところさ。

語り

その大草原に現れた強大な敵。だがその敵には、致命的な弱点があった！「善悪の判断力」だけが、極端に劣っていたのである。あらゆる生き物を一瞬にして死に至らしめる残酷な武器を作り出し、自分たち同士で戦い合うという愚行を繰り返していた。

ヒヒ

万物の創造主たる神を忘れた者は、善悪の基準をも見失う。やつらは、自らを万物の霊長だ、などと称し、生きとし生けるものの最高位に君臨し、全てを支配しようとしてきた！愚かなことじゃ！わしら動物は、頭上に神を頂くことを決して忘れてはならぬ！神は最後には審判を下されるじゃろう。この地上に聖獣・銀獅子を使わし、必ずやつらを滅ぼしてくださる。わしらにできることは、その時を待つことじゃ、伝説の救い主、神の子なる銀獅子の再臨をな！

語り

だが、血気盛んな若きライオンは、未だ見ぬ大草原に強い憧れを抱き、ヒヒの言う、その時を待てなかった。そして、ついに、大草原を目指し、脱走を試みる！しかし……。

SE3 (警報音) CI\DN\CO

SE4 (鉄格子閉音) CI\DN\CO

SE5 (怪鳥の鳴き声+羽ばたき) CI\CO

クロヒヨウ

脱走失敗か！

ライオン

誰だ！

クロヒヨウ 俺はクロヒヨウだ、よろしくな新入り！

ライオン 俺はライオンだ！

クロヒヨウ ああ、ごく普通のな！

ライオン 聖獣伝説か！フン！銀色に輝いてなくて、おあいにく様だったな。

クロヒヨウ 全くよ！

ライオン ヒヒの婆さんからたつぷり聞いたよ。俺の見たことのねえ大草原と、聖獣伝説をな……。

クロヒヨウ 見たことねえって？大草原は、おまえさんの故郷だろうかよ！

ライオン 俺は別の収容所で生まれて、ここに連れてこられた！収容所以外は知らん。

クロヒヨウ なるほど……収容所が故郷ってわけか！ハハハ！

ライオン でっかい真っ赤な太陽が沈む大草原てのを、どうしても見たくなっ

た！

クロヒヨウ

無理だろうな。俺も何度も脱走を試みたがことごとく失敗した。不思議なのは、俺達が放し飼いにされてるってことだ。高い塀に囲まれてはいるが、この中なら自由に歩き回れる。

ライオン

翼を持った鳥達は、逃げられるだろう。

クロヒヨウ

独房入りか、飛べねえように、羽を間引かれてる。カラスみたいに捕まらない奴もいるんだが、いかにもまずそうで、食料に適さないからだろう。

ライオン

食料だと！俺達は食われるのか！

クロヒヨウ

多分な。

ライオン

畜生！なんとしても脱走してやる！果てしない地平線の彼方に、でっかくて真っ赤な太陽が沈む、広い広い大草原を、この足で走ってみてえ！

クロヒヨウ

……俺はその真っ赤なでっかい太陽を捕まえようと、何度も何度

も走り続けた。どこまでもどこまでもな。だが幾ら走っても、たどり着けねえ。そして……やがて走り疲れて思うんだよ、自分はなんて小さいんだ……てな。

ライオン

一緒に脱走しよう！

クロヒヨウ

お前が銀獅子だったらなあ……（潜め声）おい、ライオン！俺の言うことをよく聞け！……お前が銀獅子になれ！

ライオン

俺が？……ハハハ、冗談を言ってる場合か！

クロヒヨウ

俺は冗談で言ってるんじゃない……お前がその銀獅子の代わりをつとめろ！って話さ！翼は無えが、ライオンであることは確かだ！お前がみんなをここから解放し、それぞれの故郷に帰すんだ！お前なら出来る！大草原を見たいんだろ？

ライオン

ああ、見たい！

ライオン

……やってみるか……

クロヒヨウ

よおし！そうこなくちゃ！一条の光が見えてきたぜ！、まずは手分

けして、脱走する意志のある奴を募るんだ。そっから始めよう。

SE6 (キリン) CI〜BGM〜FO

キリン

私達キリンはねえ、救い主の出現を待つことにするよ。銀獅子は必ずやってくる。少しの試練の後にな。全ての出来事はいい結果にたどり着くためのプロセス。艱難は忍耐を生み出し、忍耐は練達を生み出し、練達は希望を生み出し、希望は失望に終わることはない。私達は首が長いんで、みんなより遠くまで見えるんだが、ここまです高い塀に囲まれてちゃ、さすがに外が見えない！良く出来てるが、ここは偽物の大草原だ。本物の大草原てのはな、とにかく広い、食料もふんだんにある！……大草原に戻りたくないかって？そりや戻りたいさ。
でもな、もう、戻るのは無理だろうぜ……あの鉄格子は、誰にも破れねえよ！

SE7 (ナマケモノ) CI〜CO

ナマケモノ

私達ナマケモノにとって、ここはパラダイスだくわさ。働かなくつ

ていい、頑張らなくていい、わたし頑張るの嫌いなもの。木の上で、ひたすら午睡、怠惰が美德、急がば休め、浮き世のバカが起きて働く、広い草原、そんなに急いでどこへ行く！だくわさ。

SE9 (シマウマ) C I \ C O

シマウマ

ここはいいところさ。やつらは、私達シマウマみたいな模様の描かれた動くハコに乗って、私達を観察に来る。やつらの方がシマウマ模様の監獄にギユウギユウ詰めになれ、私達の方が自由に動き回ってやつらを観察している。囚人はいったいどっちなんだろうねえ。

ROLL
③

SE10 (バク) C I \ C O

バク

私達バクは楽観的な動物だね。現実の出来事にはあまり興味はないんだ。夢を食って生きてるのさ。とりわけ悪い夢が好物だね。悪夢は最上級のご馳走。収容所暮らしたんざ、正に悪夢そのものだ。しばらくここから動く気はないね。脱走？まだそんな夢を見てるのかい？救い主だと？あり得ねえ！それこそ夢物語さ！
今日一日生きられりやいい。明日のことは明日自身が思い煩うだろ

うってね。

SE12 (カンガルー) 短く CI~CO

カンガルー

妊娠中のカンガルーに脱走のお誘い？それは無理。ヒヒのおばさんが言ってたわ。「やつらは栄養価の高い食料も豊富に支給してくれるし、出産の手助けもしてくれる。育児支援や保育システムもしっかりしている」って。待機児童ゼロだそうよ！気長に銀獅子が現れるのを待つわ。生まれてくる私の子供も、あんたと同じで大草原を知らないままずっと収容所で生きることになるかもしれない。知らないんだったらさ、必要ないのかも知れないよ、故郷なんかさ。

語り

誰に話を訊いても、殺されることはあるまい、待遇も悪くない、難攻不落の収容所を脱走するのは不可能だ、気長に銀獅子の再臨を待てばいい、と言った現状維持派ばかりだった。だが、わずかながら、一方で……………

タヌキ

タヌキってのは多産系でさ、ポンポコポンポコ子供が生まれちゃって、自分ながらあきれちゃうよねガハハハ。子供達は揃いも揃ってヒツキー、みんなして巣穴に引きこもり！でもね、できの悪い子ほど、可愛いってさ。どうしてるかなあ？で、その脱走はいつ？

スカンク

私も仲間に入れてください！私達スカンクにとってはとっては、とにかくここは暮らしにくい！一番の難儀は、おならをしただけで、こっぴどく怒られること。これが辛い！こないだも、なにげなく放った私の一発で、やつらの仲間が失神してしまい、痛い目に遭わされました。

M2 (サルのテーマ) C I \ D N \ B G M \ F O

サル

私達サルの故郷はこの近くの山。だから、やつらのことはよく知っていた。私のお母さんはね、私の子供の頃、やつらに殺されたの。やつらが育てていた梨畑のそばを、たまたま通りかかっただけなのに……梨泥棒だと思われて殺された……お母さん、意識が無くなるまで、あたしを抱きしめていた……私は血で真っ赤になった傷口を一生懸命手で押さえてた。最初はまだ温かかったけど、すぐに冷たくなってきた……最後にこう言ったわ。「早く逃げなさい……

みんなと一緒に、頑張って生きてね。それとやつらのことを怨恨じやいけないよ。悪いのはお互い様なんだからね。同じ生き物として、やつらとも助け合って仲良く生きていけたら、良かったのねえ……」そして手がダランとなつて……もう、それきりだった……。

気がつくとお母さんを殺した恐ろしい武器を持ったやつが、すぐそばで、じつとあたし達を見てたんだ。そいつの頬には涙が流れていた。そしていつまでも、いつまでも泣いていたんだ。

お母さんを殺したくせに泣いたり、動物を食べるくせに可愛がり、あいつらは変だよ！私達の棲んでいた山をどんどん切り崩して、畑にしたり家を建てたり、私達の棲むところや、食べ物をとる場所がどんどん無くなっていった。だから食べ物を探しにあいつらの住んでいる所まで、行かなきゃならなくなった。仕方なかったんだよ……土地はもともと誰のものでもないのに……

ね、ライオン、あなたの目は、とてもきれい……そして、いつも遠い遠いところを見ているわ。私も山に帰りたい……ここに出来る時、私も連れてって！出来れば帰りたいがっているみんなも一緒に連れて、ここから逃げましょう！

SE15 (カラス) C I S C O

カラス

驚いたねえ！我らカラスの鳴かぬ日はあれど、恋の生まれぬ日とてなく、久しく絶えたる試し無しだよ色恋沙汰！だがライオンとサルじゃ基本的に種が違う！「道ならぬ恋をしでかしたか！」てやつだ！となりや駆け落ち！近々、ありそな脱走騒ぎってカ？

SE16 (作戦会議) C I S C O

【PART13】 作戦会議

語り

かくして、脱走に強い意欲を示したごく少数の者だけによる作戦会議が始まった。リーダーとしてライオンが口火を切る。

ライオン

まずはいかにこの鉄格子を開けるかだが………チンパンジーさん、なにかいい考えはないか？

チンパンジー

ライオンさん、実はあの鉄格子はな、やつらの命令通りに開閉するんじやよ。

ライオン なんだと！なんて命令すると開くんのだ！

チンパンジー

「オーブンザサファリ！」とかなんとか言うんじゃないよ。そこでは早速試してみた。ところが、同じことを言っても…全く反応しない！そいつの声じゃないと開かない仕組みになってるらしい。

オウム

ちよつと待って！そいつの声、もしかしたら僕、ちよつと聴けば、そっくりに真似出来るかも知れない！

ライオン

なんだと？

オウム

ライオンさん、僕達オウムはね、声まねが得意なんだ。二回も聴けば、そっくりに真似できるよ！

ROLL
⑥

クロヒヨウ

チンパンジーさん、どう思う？

チンパンジー

おそらく、これ以上の策は見つからんじやろう……。

ライオン

よし、決まった！それで行こう！一刻も早い方がいい！オウムさん

が、明日の朝、鉄格子を開けるやつの声を聴いて、真似出来るようになったら、その日の夕方、決行しよう！決行の合図はリーダーの俺から出す。夕方、みんなそれとなく俺の見える位置に来て俺を見てくれ！俺が立ち上がり尻尾を左右に三回振る！したらオウムさんが声まねで鉄格子を開ける。開いたらまず俺が走るからそれに続け！あとは真っ赤なでっかい太陽に向かって走るんだ！

チンパンジー

太陽って、脱走するのは夜なんじゃろ？

クロヒヨウ

いや、このクロヒヨウ様の観察によると、夜は却って警備が厳しい。警備が最も手薄になる時間帯は太陽が沈む直前だ。

チンパンジー

問題は天気じゃな、ライオンさん……。

ライオン

天気が悪かったら順延すればいい！

オウム

ねえ、チンパンジーさん、僕は、羽を間引かれていて、空を飛ぶことが出来ないんだけど、みんなに追いつけるかなあ。

クロヒヨウ

そうか……オウムさんは、足手まといだなあ……

ROLL ⑦

チンパンジー

クロヒヨウさん、お前さん、自分さえ良ければいいのかい？オウムさんを置いていく、オウムさんを連れて行く、どちらが善で、どちらが悪か、考えてみるがいい。

スカンク

そうだよ！オウムさんの声マネのお陰で逃げられるかもしれないのに、そのオウムさんを置いていくなんて！

チンパンジー

善悪の判断を無くしたら、わしらはやつらと同じ生き物になってしまふ。サルさん、オウムさんを抱いて走ってくれないかね。

サル

ええ、いいわ。

オウム

ありがとう、サルさん！

チンパンジー

ここを出さえすれば、それから先は、みんなで助け合い、知恵を絞っていけば、なんとかなるじやろう。

ROLL ⑧

ライオン

よし！決まった！今夜の所はこれで解散！早ければ明日の夕方、決行だ！

全員

おおっつ！

ライオン

シ〜〜！！

語り

かくして、声真似という、オウムの天賦の才によって、ついに！鉄格子のロックは解除された！

SE17 (警報音) CI〜DN〜BG〜FO

M3 (逃走) CI〜DN〜BGM〜CO

語り

ライオンが走る！オウムを抱いたサル、タヌキ、スカンク、チンパンジー、そしてクロヒョウが走る！動物達が走る！動物達の脳裏には、それぞれの故郷が思い描かれていた！走れ！ライオン！夕日に向かって走れ〜！！あの真っ赤なでっかい太陽に向かって！

だが、行けども、行けども、行けども！そこには！山も大草原も、ジャングルも無かった！

……………動物達は、いつしか、不気味に聳え立つ巨大な高層ビル群

に囲まれてしまっていた。凝然と立ちすくむ動物達！そこは、やつらが建造した、イミテーションジャングル！大都会のまっただ中だったのである！

SE18 (衝撃音、街ノイズ) CI↘DN↘BG

……………ライオンが叫ぶ！

ライオン

【出(いで)よ、聖獣くくく!!!】

語り

……………しかし、ついに、救い主なる、聖獣・銀獅子は、現れなかった！……………追っ手が迫る！動物達は、再び走る！

M4 (M2と同じ逃走) CI↘DN↘BG↘CO

ビルの谷間を駆け抜け、ひたすら走る！走り続ける！四方八方から迫り来る、銃を手にした追手！次第に狭まる包囲網によって、動物達は、徐々に袋小路へと追い込まれて行った！そしてその退路は、完全に断たれた！動物達に銃口が向けられ！最期の時が迫る！

SE19 (構え音)

語り

SE20 (一斉射撃音)

SE21 (衝撃) CI↗DN↗BG↗UP↗FO

夥しい銃弾を浴びせられ、動物達が、次々と倒れていく………。そして最後に、ライオンが、ゆっくりと、くずおれるように倒れていく！薄れゆく意識の中で、ライオンは、一瞬、真つ赤なでっかい太陽を見た気がした！だがそれは、巨大な建造物に映り込んだ虚像、偽物の太陽だった………。そして、ついに、天空が黒い雲に覆われ、その太陽をも飲み込み、暗黒の世界、常闇（とこやみ）が支配し、何も見えなくなった………。全てが………。終わった………。だが………。

SE22 (一条の光) CI↗CO

と、天空からまばゆいばかりの一条の光が、ライオンを浮かび上げさせた。

SE23 (ライオンの咆吼①) CI↗FO

ライオンが………。ゆっくりと立ち上がる………。そして！見る間に全身を覆う体毛が銀色に変容していく！背中には大きな銀色の翼が出

現し、その大きな翼を羽ばたかせ、フワリ！と、銀獅子が、空に舞い上がった。他の動物達も次々に立ち上がり、そして、翼を持たぬ動物達までもが天空に舞い上がる！

M 3 (聖獣伝説のテーマ) C I \ D N \ B G M \ F O

銀獅子が、そして、動物達が、天空高く上っていく………………。天国に用意された、決して破壊されることのない、それぞれの故郷に帰って行ったのである。果てしない地平線に、でっかい、真っ赤な太陽が沈む、本物の大草原に、銀獅子も還っていく。銃を手にした生物達は、皆、石像と化して、動くことが出来なかった……………。

そして、この日、地球上に存在する全ての生き物達が姿を消した：

M、F O。

架空の動物達の寓話集、「聖獣伝説」。その表題作「銀獅子」は、ヒヒの語りで、こう締めくくられている……………。

ヒヒ

【誰も居なくなつた大草原の真ん中に、一粒の小さな種から芽吹いた一本の木が、すくすくと育ち始めた……………その種は、神が、生きと

し生ける者を再生するために蒔いた、善悪を知る木の、種であった
【という】

M (聖4 獣伝説のテーマ) C I S F O

ワクアナ

ラジオドラマ【聖獣伝説・銀獅子】ただいまの出演

ライオン……………

クロヒヨウ……………

チンパンジー……………

ヒヒ……………

サル……………

キリン……………

ナマケモノ……………

シマウマ……………

バク……………

カンガル―……………

タヌキ……………

スカンク……………

オウム……………

カラス……………

語り……………以上でお送りしました。